

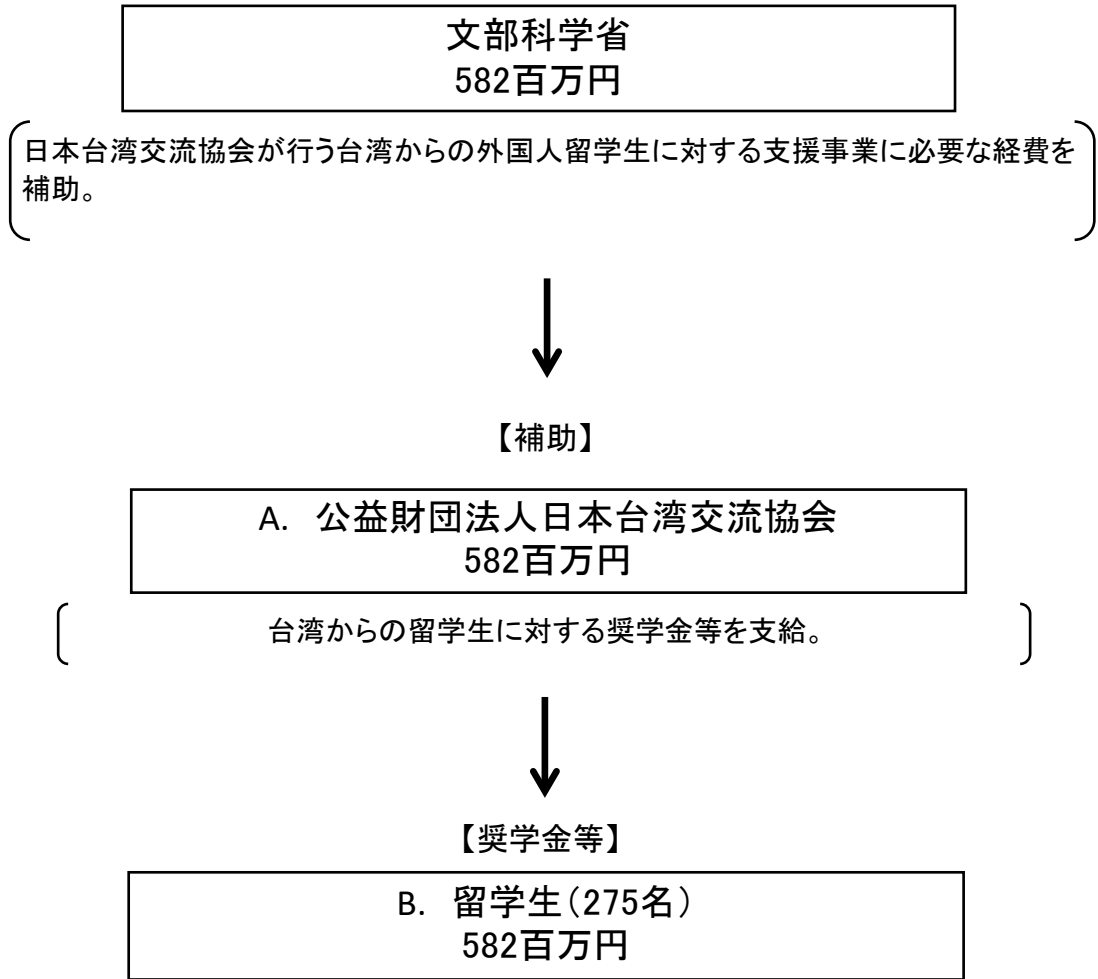
	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	日本台湾交流協会			担当部局庁	高等教育局		作成責任者
事業開始年度	昭和47年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)		参事官(国際担当) 小林 洋介
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定) 「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」(平成25年6月14日閣議決定) 「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定) 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)		
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	経済協力費		
施策	13-1 国際交流の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	1972年の日中国交正常化に伴い、我が国は台湾と断交したが、外交を除く従来の関係を維持するための民間レベルの交流団体として、財団法人交流協会(現公益財団法人日本台湾交流協会)が設立された。この日本台湾交流協会を通じた、台湾からの留学生に対する奨学援助を支援することによって、日台間留学生交流の一層の拡充を図り、相互の教育・研究水準の向上に資するとともに、相互理解と友好親善を増進することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、日本での外国人留学生の受入数については、年々増加し、2019 年には約 31 万人となった。しかしながら、その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2022年には約 23 万人まで減少しており、世界各国が留学生の獲得にしのぎを削る中、日本においても留学生の受入数の改善が喫緊の課題として指摘されている。また、その他の計画等においても、様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成することが目標とされており、大学等における優秀な外国人留学生の受入れや日本人学生の留学生交流等を推進する必要がある。 (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」 令和2年5月1日現在の留学生数:279,597人(前年比 32,617人(10.4%)減) 令和3年5月1日現在の留学生数:242,444人(前年比 37,153人(13.3%)減) 令和4年5月1日現在の留学生数:231,146人(前年比 11,298人(4.7%)減)						
事業概要 (5行程度以内)	日本の大学で研究指導を受けている若しくは受けようとする台湾からの長期留学生(大学院レベル及び学部レベル)、及び、留学期間が3年以上1年未満の短期留学生に対し、日本台湾交流協会を通じて奨学金等の援助を実施する。(定額補助)						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	補助事業者:公益財団法人日本台湾交流協会 補助対象:台湾からの留学生に対する奨学援助の事業 補助率:全額支給						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	650	650	650	650	
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	650	650	650	650	-	
	執行額(G)		583	578	582		
	執行率(%) =(G)/(F)		90%	89%	90%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		90%	89%	90%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		国際交流・協力推進費		※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ※令和4年度の執行額(582)は、確定前の暫定的な額のため、確定次第、確定額へ修正予定。		
		(目)	文化交流団体補助金	650			
			その他	0			
	計(A)		650				

活動内容① (アクティビティ)		台湾からの留学生に対し、奨学援助を実施。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		当該事業を通じた奨学金等受給者数を増やす	当該事業を通じた奨学金等受給者数(長期) ※当初活動見込みは、前年度活動実績から算出するため	活動実績	人	226	220	220	-	-
				当初見込み	人	230	235	229	229	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	効果発現の初期段階として、台湾からの留学生に対し、奨学援助を着実に実施することで、台湾から日本への留学者数(長期)を増加させることにつながると考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 15 年度	
		高等教育機関における台湾からの私費外国人留学生数を増やす	高等教育機関における台湾からの私費外国人留学生数	成果実績	人	5,888	4,309	4,248	-	
				目標値	人	7,819	6,124	4,481	7,220	
				達成度	%	75.3	70.4	94.8	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、外国人留学生の受入数 40 万人を目指すことが提言されており、台湾から日本への留学者数が増加することで、当該目標の達成に寄与するため、我が国が受け入れる外国人留学生数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		我が国が受け入れる外国人留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生数	成果実績	人	279,597	242,444	231,146	-	
				目標値	人	312,214	279,597	242,444	380,000	
				達成度	%	89.6	86.7	95.3	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		<成果実績> (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」 <目標値の根拠> 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日) ・外国人留学生の数(高等教育機関及び日本語教育機関): 38 万人								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		台湾からの留学生に対し、奨学援助を実施。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		当該事業を通じた奨学金等受給者数を増やす	当該事業を通じた奨学金等受給者数 (短期)	活動実績	人	59	－	55	－	－
				当初見込み	人	126	61	－	57	－
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、台湾からの留学生に対し、奨学援助を着実に実施することで、台湾から日本への留学者数(短期)を増加させることにつながると考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 15 年度	
		高等教育機関における台湾からの私費外国人留学生数を増やす	高等教育機関における台湾からの私費外国人留学生数	成果実績	人	5,888	4,309	4,248	－	
				目標値	人	7,819	6,124	4,481	7,220	
				達成度	%	75.3	70.4	94.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、外国人留学生の受入数 40 万人を目指すことが提言されており、台湾から日本への留学者数が増加することで、当該目標の達成に寄与するため、我が国が受け入れる外国人留学生数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		我が国が受け入れる外国人留学生数 (各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生数	成果実績	人	279,597	242,444	231,146	－	
				目標値	人	312,214	279,597	242,444	380,000	
				達成度	%	89.6	86.7	95.3	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		<成果実績> (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」 <目標値の根拠> 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日) ・外国人留学生の数(高等教育機関及び日本語教育機関): 38 万人								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

(※1) 令和4年度実績を記入。
(※2) 金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。
(※3) 令和4年度の執行額(582)は、確定前の暫定的な額のため、確定次第、確定額へ修正予定。



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	奨学金等	423	奨学金	奨学金	2
	事業費	授業料	153	授業料	授業料等の支払い	2
	事業費	渡日・帰国旅費	6			
	計		582	計		4
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック		

